不透明な見通し

さらに、 2016年卒から大きく変更された就職活動スケジュ ールの見直しが行われたことで学生と企業、 の就職活動スケジュ そのため、2018年卒(学部3年、修士1年) この記事を執筆している5月中旬時点では未確定となっ ていま 2017卒の るかもしれませんが、 ールや就活ノウハウについてじっ ップを控えて情報収集を始めている2018卒の読者もい たちは就職活動が進行中のため、スケジュ 2018卒の就活スケジュールの見通しについて解説します。

な意見が出ており、2018卒の就活 前倒しで選考を実施すべき」など、 のではないかと思われます。企業や大学 が一段落する2016年夏以降になる 式に決定するのは2017年卒の選考 2018年卒の就活スケジュールが正 大きく変えるべきではない」、「もっと から、「2017年卒スケジュールから

就活スケジュールは未確定 現時点では2018卒の

混乱が生じています。 ジュールは学部3年・修士1年の3月 開され、翌年4月から採用選考が行わ 3年・修士1年の12月に採用情報が公 動期間が短縮され、学生・企業双方に の就職活動は、前年よりも実質的な活 なって日程が変更された2017年卒 ましたが、翌年の2017年卒はそこ 解禁日)、8月から採用選考開始となり 16年卒を対象とした就職活動スケ れるというスケジュールでした。20 から開始となりました。就活直前に から選考開始日のみが前倒しされ6月 1日から採用情報の公開(いわゆる就活 2015年卒までの就職活動は学部

ばかりではありません。

ジュールに沿った採用活動を行う企業 同する企業についての話で、このスケ 唱する「採用選考に関する指針」に替 ルは日本経済団体連合会(経団連)が提

とはいえ、前述の就職活動スケジュー

企業ごとに多様化の傾向

動きにどのような影響があるのか、企業 側は一定の検証をしない事には201 この日程変更によって学生・企業の

8年卒就活スケジュールの方向性を決

めることは難しいでしょう。それゆえ、

おくことが重要となるでしょう。 なく、早期からしっかり情報収集して 解禁日になってから腰を上げるのでは よりも多様化しており、就活生は就活 企業による選考や採用プロセスは以前 を行っている企業も少なくないのです。 ケジュールに当てはまらない採用活動 行っている企業など、一般的な就活ス 選考を進めて6月以前に内定出しを う外資系企業や、早期から採用広報 て採用直結型のインターンシップを行 学部3年・修士1年の秋~冬にかけ

企業の採用スケジュールが過密化し、 ります。就活期間が短くなることで 加回数が前年と比較して減少傾向にあ みると、就活生の説明会や面接への参 なお、2017卒の就職活動を見て

とが要因とみられます。さらに、卒業 採用試験や説明会の日程が重複したこ

就活スケジュール、採用プロセスは 意深く見ていく必要があるでしょう。 は予断を許しません。今後の動きを注 スケジュールがどのように決着するか

2017年卒の先輩たちの 就職活動スケジュール

<u>下記スケジュールは2017年卒の先輩たちの就</u> 職活動スケジュールです。2018年卒の就活解禁 時期および選考開始指時期は本稿執筆時点(5 月中旬)では未確定です。

2015 **8**月

10月

夏だけでなく 秋から冬にかけて インターンシップを 実施する企業が増加。

12月

2016 **1**月

2017卒向け 採用情報の公開。 エントリー受付が スタート。

採用選考

月

選考開始後は 随時内定出し。

8月

インターンシップ

エントリー受付 合同イベント・説明会

筆記試験 · 面接 ジュールではそのチャンスは限られて 進路変更も可能でしたが、現状のスケ 界Bも受けてみる」といった途中での

の希望にマッチしなそうだったから業 報の公開から内定までの期間はわずか ルに大きな変更がなかった場合、採用情 してみてから『進学』を検討する」や 早期に将来について 考えておくことの重要性が高まる 「業界Aを中心に受けてみたけど、自分 仮に2017卒から就活スケジュー 以前は「一旦就活に挑戦 会との接点を持つことで、 しっかり考えるようにしましょう。 チャンスは増加 き方向が見えてくるかもしれません。 志望業界・企業など、 断材料を集めてみてはいかがでしょう。 ので、今のうちに様々な経験をして判 にやりたいことが見出せる場合もある

自身の目指すべ

3か月です。

インターンシップ参加の

す。インターンシップは仕事や会社の めにお勧めなのはインターンシップで 早期に仕事や業界の理解を深めるた

> ターンシップを実施する企業が増えて のですが、2016卒の就活以降は夏 格的に開始するという企業が多かった シップを行い、冬以降に採用活動を本 好の機会。かつては夏にインターン 適性や本当にやりたいことを見出す絶 理解をしっかり深めることで、自身の だけでなく、 秋から冬にかけてもイン

自分の本当

社

くことが好ましいでしょう。

のか」といったことを今のうちから

か」「自分の本当にやりたいことは何な いがあるのであれば、「なぜ就職するの しまいます。将来の進路に少しでも米

就活対策の準備をできるだけ進めてお

就職活動が本格化する前に研究や

年次は学業が多忙な理系学生も多いた

備を整えてみてはいかがでしょう。 の適性や社会に対する理解を深め、 就職活動が本格的に始まるまでに自分 ターンシップ情報は多数公開されてお がっているので、この機会を活用し インターンシップ参加のチャンスは広 すでに2018卒向けのサマーイン エントリー受付も始まっています。

> 企業は2017卒の就職活動の状況を踏まえ、2018卒の採用スケ ジュールやプロセスの見直しを検討しているところも少なくありま それゆえ、就活生は情報に対する感度を高めつつ、行動 計画をしっかり考えることが一層重要となります。そして就職活 動が本格化するまでの時間を活用し、社会についての理解を深 めたり、自身のスキルアップに努めたりと、時間を有意義に使っ てください。「自分が将来どうなりたいのか」「そのためにいま何 をするべきなのか」この夏、考えてみてください。

まと